

水道料金に福祉減免制度を

日本共産党
野北 知見



町長 福祉施策全体で制度を検討



▲安心して飲めるきれいな水に変える浄水場

問 令和5年度から水道料金の改定が行われる。将来にわたる水道の安定供給という意味合いから、一定の料金引き上げはやむを得ないものと考えられるが、コロナ禍や物価上昇が相次いでいる中、生活が厳しくなっている住民の方に今回の引き上げは大きな影響を与える。昨今の社会情勢を鑑み、社会福祉施策の一環として、低所得世帯に福祉減免制度の検討を行うべきだと考えるが見解は。

答 福祉対策として様々な方策を講じている中で、さらに町単独で福祉減免

問 令和5年度から水道料金の改定が行われる。将来にわたる水道の安定供給という意味合いから、一定の料金引き上げはやむを得ないものと考えられるが、コロナ禍や物価上昇が相次いでいる中、生活が厳しくなっている住民の方に今回の引き上げは大きな影響を与える。昨今の社会情勢を鑑み、社会福祉施策の一環として、低所得世帯に福祉減免制度の検討を行うべきだと考えるが見解は。

答 福祉対策として様々な方策を講じている中で、さらに町単独で福祉減免



無所属
宮宅 良

幸福感の高いスーパーシティを

町長 スーパーシティの動向を注視



▲幸福感が高く笑顔溢れるまちづくりを

問 本町では、協働のまちづくり宣言やSDGsの理念を取り入れた第5次播磨町総合計画などを策定している。協働や共生社会に向けた取り組みとWell-Being（幸福感）は親和性が高い。Society5.0に向けた取り組みを含め、Well-Beingの高いスーパーシティを目指すべきでは。

答 SDGs達成の観点からも、Well-Beingは重要な要素で、デジタル技術の活用がWell-Beingの向上に期待されている。ス

問 本町では、協働のまちづくり宣言やSDGsの理念を取り入れた第5次播磨町総合計画などを策定している。協働や共生社会に向けた取り組みとWell-Being（幸福感）は親和性が高い。Society5.0に向けた取り組みを含め、Well-Beingの高いスーパーシティを目指すべきでは。

答 SDGs達成の観点からも、Well-Beingは重要な要素で、デジタル技術の活用がWell-Beingの向上に期待されている。ス

不登校への責任は

町長 次期予算に反映する

問 不登校で、「今」という大切な時間を失うことがないように、しっかりと責任を果たすべきでは。

答 教育委員会、学校、行政が連携した体制づくりを、次の予算編成から反映できるよう準備する。

明るい雰囲気役場を目指して

無所属
大北 良子



町長 挨拶は相手を気遣う心で



▲明るい雰囲気役場を目指して

問 令和4年10月に行われる機構改革の際に、住民と職員もワンチームとなり親しまれる明るい雰囲気役場を目指し、笑顔と挨拶を励行しては。

答 職員訓示の場でも、来庁者には自ら先に声をかけ、相手を気遣う心で、はつきりと挨拶するよう指示した。明るい役場のイメージを発信する。

問 壁面ポスターなどを整理し、わかりやすい表示を。

答 多種多様でわかりにくいものは、厳選し適切な情報提供を図っていく。

問 近隣市町との良好な関係を構築し、共生していく社会を創造するため、祭りやイベントの企画などに、関係人口の方々を幅広く起用しては。

答 これまでも住民のふれあいを推進してきたが、昨今イベントの形態も多様化し、民間事業者の開催するものも多くなるので形態を検討したい。

問 土山駅前のイルミネーションの準備やアイデアなども、町内外を問わず一般募集し、さらに親しまれるよう再構築を。

答 実施主体である商工会へ意見などを伝える。

問 ロードレース大会は以前の海を眺める新島を走るコースに戻し、誰もが楽しめるように再考を。

答 参加者の安全確保が困難なため、コース変更したが、以前のコースの復活について検討する。

関係人口の構築は

町長 イベントの形態を検討



日本共産党
松岡 光子

タクシー料金助成の継続を

町長 継続しながら総合的に検討



▲高齢者の外出に役立つタクシー券

問 町は高齢者の移動を支援するための公共交通施策として、令和3年1月から高齢者タクシー料金助成券の交付をコミバス実現までの間ということして実施したが実績は。

答 令和3年度の75歳以上のタクシー券交付対象者数は4733人で、申請件数は3297件である。平均使用枚数は5.4枚、使用率は45.6%である。

問 当初予算額は222万3000円、決算額は954万9378円である。想定より使用されていないことについての考えは。

問 周知徹底の工夫や本人確認方法の緩和などで、使用率を上げたい。

答 タクシー券の支給枚数の引き上げや、対象年齢の引き下げの検討は。現時点では検討していない。

問 バス停までの移動や公共交通機関の乗り継ぎが困難な方に、タクシー券は必要である。コミバス実現までではなく、誰一人取り残さない交通施策としてタクシー料金助成は継続すべきでは。

答 単に年齢を下げるのではなく、介護認定者を対象に交付枚数を変えたり、民間の移動手段など、総合的に公共交通を見直し検討する。

問 住民のニーズを考え、現在の事業を継続しながら、より良い方向性を2、3年後には出していく。

答 その他の質問
家族介護支援特別事業について